

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

**【地区の概要】**

- 土地利用型作物(水稻・麦)が主体の平地農業地域
- 高齢化による離農や後継者不足が課題であり、担い手の生産体制を強化する必要がある地区

**【支援内容・背景】**

- 担い手の経営面積の拡大に対応して、安定した生産体制の構築を支援する必要。
- 助成対象者は、地区の中心経営体として水稻・小麦に加え、町の特産品である「もち麦」を生産しており、経営面積の拡大を目指している。このため、地区における担い手として経営力の強化を支援。



助成対象者「(農)鍛冶屋営農組合」の経営の状況と事業内容

**【経営の経緯】**

- 昭和58年  
鍛冶屋営農組合発足
- 平成27年  
法人化(農事組合法人鍛冶屋営農組合)
- 平成28年  
農業経営改善計画の認定

**《事業活用の背景》**

○ 地区内の農地集積を推進しつつ、安定した経営を図るためには、経営コストの見直しや作業効率の向上が必要。さらなる経営面積の拡大に向け、耕起作業等の効率化に資する高性能機械を導入。

**【事業実施時の状況】**  
〈H29年度〉

- 売上高 12百万円
- 経営面積 22.4ha

**《事業による整備内容》**

- トラクター(45ps)1台  
事業費5,130千円  
(国費1,425千円)

※写真: 上段 本体  
下段 ロータリー

**【現在の経営状況】**  
〈R3年度〉

- 売上高 17百万円 (142%)
- 経営面積 26.3ha (117%)

事業の  
効果

《対象者》 耕起作業等の効率化により経営面積の拡大が実現し、売上高が増加。  
《地区》 担い手に農地を集積して経営面積の拡大が実現し、水稻・麦の生産体制の強化が図られることにより、地域農業を支える担い手として安定した経営を確立。